

日光市の文化財 36

文政六年銘石造道祖神



【種別】有形民俗文化財  
【所在】日光市上三依  
昭和54年10月1日旧藤原町指定  
文政六年銘石造道祖神は、塩原方面へ向かう旧道があった場所、現在の上三依水生植物園の近くにありす。

や道のつじなどに見られ、江戸時代には旅や交通安全の神として祀られました。上三依の道祖神は、女性が男根を抱いた姿を刻んだもので、県内ではほかに例がありません。群馬県や長野県などには男女抱擁像という像がありますが、これらと比べても独特な姿をしており、非常に珍しく貴重なものです。  
この道祖神の造られた文政年間(一八一八〜三〇年)の藤原地域では、仲附(なかつけ)者と呼ばれる物資輸送業者が人馬輸送を積極的にに行い、活発な商業活動が行われました。こうした時代背景の中で、上三依地域のにぎわいや塩原地域と盛んな交流があったこと、さらには当時の人々の中に神を祀る信仰心が存在したことを裏付ける、価値のある一資料となっています。



特別企画 大人と子どもで楽しむ絵と音楽 ～「鳥」とともだち～

大人と子どもが一緒になって、絵と音楽の世界に親しむ、鳥をテーマとした講座を開催します。

美術館で、鳥をテーマとした絵を楽しんだ後に、小さなお子さんにもできるちょっとした工作をしますので、家族そろってご参加ください。大人の方だけの参加も大歓迎です。

皆さんの鳥のイメージを、音やかたちで表現してみましょう。



鳥の冠と笛を作ります。

と き：6月26日(土) 午後2時～4時  
講 師：宮地ゆみ氏(ピアニスト)・当館学芸員  
場 所：美術館エントランスホールおよび展示室  
参 加 料：1人300円  
定 員：30名(先着順)  
申込方法：美術館へ電話で申し込む

◆展覧会「自然@美術 小杉放菴の自然へのいつくしみ」(7月19日まで)  
開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
入館料：一般…700(300)円、大学・高校生…500(200)円、小中学生…無料 ※( )内は市民割引券を利用した際の料金です。

KOSUGI HOAN  
MUSEUM OF ART,  
NIKKO  
小杉放菴記念日光美術館

市民文芸

川柳 選者 日野原元児

春眠に期待している不眠症 白土武夫  
砂山が僕で貴女が風になる 小曾根光秀  
記念樹のサブタイトルは娘の名 斎藤雅裕  
どうにでもなれと納豆かき混ぜる 大橋芳明  
母の愛ぎゅつとつまつた握り飯 福田英子  
ほころびたウソに裏打ちしてあげる 野口一徳  
天気好しひとつ手前で降りてみる 吉原一典

俳句 選者 須藤火珠男

抽斗の奥に闇あり桜どき 星野恒志  
春天へ希望の橋を飛行雲 鈴木キヌ子  
雪あればそこで散歩のまわれ右 白土武夫  
春雪や老の身庇ふ杖一本 徳本英子  
おそろおそろつり橋渡る山笑う 福田美代子  
放牧の牛のつそりと長閑なり 渡辺ミチ子  
朧月猫と自分とにらめっこ 高橋忠吉

歴史民俗資料館通信

日光市中央町29-1(今市図書館隣) ☎0282-6217  
開館時間 午前9時～午後6時(入館無料)  
休館日 毎週月曜日、祝日

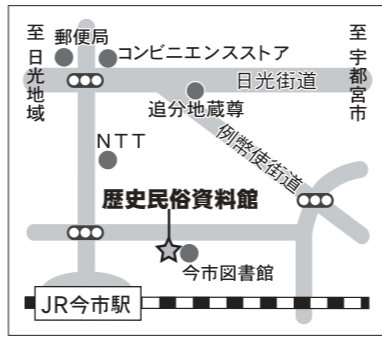


の成果を公開する活動です。  
▼自宅にある古い文書や写真、道具などを処分したい、または預けたい方、歴史・自然研究グループに興味のある方、出張講座・学校授業支援などの希望がある方は、お気軽にお問い合わせください。

◆催し◆

- ◆企画展「かわらの植物」7月4日(日)まで
- ◆千本木丘陵周辺植物調査 6月12日(土)午前8時40分から
- ◆カワラノギク植栽 7月3日(土)午前10時30分から

◆歴史民俗資料館の地図◆



短歌 選者 阿久津伸一

雨続き権葺育ち木々芽吹く天のタクトに春の合唱 関根眞佐子  
営々とヒトは危ふし天を指すパベルの塔もスカイツリーも 名古屋佳子  
枯れしかと心にかかりし栃の木の新芽を濃き蜜ゆたかに包む 高野恒子  
冬枯れの木々の根元を照らしている福寿草の黄我を導く 大出喜代  
若やぎて観桜の旅にわれは出づ枯れざる古木の樹勢を見上ぐ 金田満寿子  
霞たつ遠野の里はのどかなるつくし摘みつつ子等と過せり 北崎 君  
継続は力たること実感す歩いてつきし脚の筋肉 白土武夫

作品を募集しています!

川柳・俳句・短歌を募集しています。氏名(ふりがな)、住所、電話番号を明記して、ご応募ください。  
応募先及びくわしくは 秘書広報課 広報広聴係 ☎(21)5135・FAX(21)5109